

感染症情報 9月15日～21日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	557例(堺市	39例)
②RSウイルス感染症	356例(堺市	26例)
③伝染性紅斑	199例(堺市	14例)
④溶連菌感染症	175例(堺市	22例)
⑤咽頭結膜熱	79例(堺市	1例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	306例(堺市	21例)
---------	---------	------

報告数の順位。前週比16.5%減の1,607件。感染性胃腸炎は府下で前週655例→今回557例、堺市で前週30例→今回39例。RSウイルス感染症が府下で374例→356例、堺市で35例→26例。伝染性紅斑が府下で313例→199例、堺市で27例→14例。溶連菌感染症が府下で220例→175例、堺市で19例→22例。咽頭結膜熱が府下で100例→79例、堺市で7例→1例。

インフルエンザは府下で前週226例→今回306例。堺市で前週15例→今回21例。定点当たり1.05と0.84。大阪府は流行期入りとされた。全数把握疾患の百日咳は大阪府で33例→28例、堺市は前週・今回とも0例。府内の累積報告数は2,834例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	1,410例(堺市	114例)
大阪府定点	4.85	堺市定点 4.56

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で1,961例→1,410例(28%減)、定点当たり6.74→4.85。堺市で254例→114例(55%減)、定点当たり10.16→4.56であった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	10,153例(堺市	910例)
大阪府定点	34.89	堺市定点 36.40

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より11,738例→10,153例(14%減)、定点当たり40.34→34.89、堺市で1,104例→910例(18%減)、定点当たり44.16→36.40であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。